

「教育課題に関するグループ研究発表会」

を開催しました（1年）

教育創造コースの1年生は、1学期からグループを編成し、教育課題に関するテーマを設定して、グループ研究を進めてきました。

令和7年2月28日に香川大学教育学部より小方朋子先生と川東芳文先生をお招きし、1年生がその成果を発表し、両先生方から質疑を受け、ご講評もいただきました。

1年生にとっては、このような形式での研究と発表はほぼ初めての経験でしたが、学級担任・副担任や香川大学教育学部生から指導・助言を受けながら協働的に研究をすすめ、貴重な経験をし、大きな学びを得ました。

1年生のグループ研究テーマ

班番号	研究テーマ
1	学校におけるコミュニケーションとは ～受け取る力と伝える力～
2	どのような子育て支援をすれば少子化を改善できるか ～香川県の少子化を改善するためには どのような支援が必要か～
3	部活と学習能力の関係について ～文武両道の実現は出来るのか～
4	暗記力を向上させるための睡眠 ～睡眠時間と暗記力の関係について～
5	「遊び」と「学力」の関係性
6	小学校における宿題の有無による影響 ～現在の取り組みと将来の宿題の在り方～
7	全生徒が同じ環境で過ごすために ～未来をつくる環境づくり～
8	ICT機器の授業への取り入れ方
9	高校教育における授業方法 ～英語の授業について～
10	塾と学校の一体化



今回1年生は、問いの立て方、レジュメの書き方、発表スライドのまとめ方など、「探究」の手法についても学びました。小方先生や川東先生からの質疑により、研究の弱点やさらなる課題も明らかになりました。

今回の経験を元に、2年次からは、テーマを設定し直し、教職と現代の教育課題についての理解をさらに深めていきます。また、自分の研究を軸に、多種多様な人々と意思疎通をしたり、発表活動をしたりなどしていくことで、総合的な人間力も高めていきます。